

木材の表面塗装

神社・仏閣などに使われている木材を見ると、木材は表面塗装をしなくても十分に使用できるものと思われがちですが、加工されて仕上げられたばかりの木材の表面は赤ちゃんの肌と同じように繊細で傷みやすくなっています。

綺麗な状態で使い続けるためには、長い期間をかけて、内側から出てくる樹脂が表面に薄い層を形成するまで、表面を磨き続けなければなりません。

通常の木製品では、その代用として塗料による“**表面塗装**”を施すことが一般的です。塗装は肌を守る化粧品などと同様で、表面の補強、防腐・防汚・防水性の向上、デザイン性を考慮した着色などを目的として行われる処理で、木材の用途や使う人の好みによってどのような塗装をするかは異なってきます。

この項では当社が対応している塗装を、その用途別にご紹介いたします。

・汚れが付くのを防ぐ塗装

普段から人が触れることの多い部分に使用される木材では、表面の汚れやシミなどを防ぐ性能の高い「**ウレタン塗装**」が最適です。

木の表面にウレタン樹脂の薄い塗膜を作るため、木材内部に汚れやシミが入りにくく、定期的なメンテナンスも不要です。

表面に塗膜が出来るため、木材の本来の手触りが少々薄れて、全体的にやや光沢感のある感じに仕上がります。



・表面強度を上げる塗装

内装材の中でも、硬いモノや熱いモノに接する機会がある部分には、塗膜の耐久性の高い「**セラウッド塗装**」が最適です。

ウレタン樹脂とセラミックの複合塗料で、塗膜が硬いので表面の凹みや熱による変質にも耐久力を発揮します。

高強度の表面塗装のため、メンテナンスが必要になった際は専門工場に持ち込まなければ補修等は出来ません。

・木の質感を損なわない塗装

木材の本来持つ質感を極力損なわずに使用したい部分には、「**オイル塗装**」をお勧めします。

ウレタン系の塗膜を作る塗装とは違い、木材自体に塗料を浸透させる塗装方法なので、木材の本来の質感を損なわず、使い込むほどに味のある風合いへと変化していきます。塗装が容易で個人での補修等も可能な塗装方法ですが、耐久性がやや低いいため定期的にメンテナンスを行う必要があります。



・防腐、防水機能に特化した塗装

屋外などの厳しい環境下に置かれる木材では、防水性や防腐性の高い**油性タイプ**の塗料の使用をお勧めします。

屋内で使用する木材では、人体への安全性や環境に配慮して水性の塗料を使用することが多いですが、屋外などの厳しい環境下に置かれる木材では、雨風の浸食を防ぐために撥水性の高い塗料を使用する必要があります。

多くのものは強い臭気があるため、密閉空間に置くと健康被害を招くリスクがあり、また塗膜自体が強靱であっても、その下の木材が変形することによって、亀裂や隙間が生じる事があるため、定期的なメンテナンスが必要となります。

